



# 平和首長会議ニュース

2021年7月 / 第139号

## 平和首長会議加盟都市数

165 か国・地域 8,037 自治体

**加盟都市数 10,000 都市を  
目指しています！**

日本国内加盟自治体数：1,734

(2021年7月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

🌐 ウェブサイト:

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

📘 フェイスブック:

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

🐦 ツイッター:

<https://twitter.com/Mayors4Peace>

「いいね！」をお待ちしています。

### <<今号の内容>>

- ◆第12回平和首長会議理事会をオンラインで開催し新ビジョン・行動計画を策定しました
- ◆平和教育ウェビナー「世界の青少年による平和活動交流会」を開催します！
- ◆平和首長会議加盟自治体数: 165か国・地域 8,037自治体
- ◆平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています
- ◆被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
- ◆長崎大学核兵器廃絶研究センターから: 2021年版「世界の核弾頭データ」ポスター解説①
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)
- ◆広島被爆者7団体が実施する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」について

## ■第12回平和首長会議理事会をオンラインで開催し新ビジョン・行動計画を策定しました

平和首長会議では、昨年末に終了した2020ビジョンに代わる新ビジョン・行動計画を策定するため、7月7日に第12回平和首長会議理事会をオンラインで開催しました。理事会には18の役員都市が出席し、全会一致で新ビジョン「持続可能な世界に向けた平和的な変革のためのビジョン※」及び2025年までの行動計画を策定しました。

※略称: PXビジョン、英語名: Vision for Peaceful Transformation to a Sustainable World

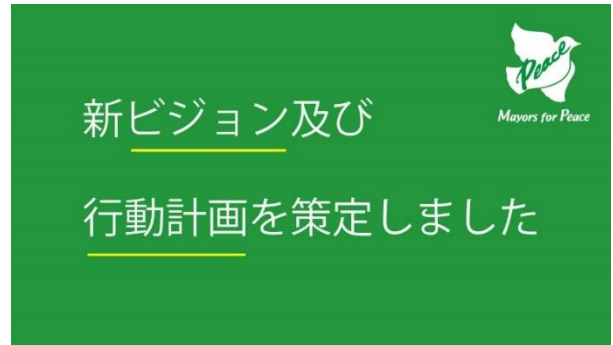


このPXビジョンでは、世界恒久平和への道筋として、これまで掲げてきた「核兵器のない世界の実現」と「安全で活力のある都市の実現」に加え「平和文化の振興」を新たに三つ目の目標として掲げています。

都市がそこに居住する市民を核兵器の脅威から確実に守るとともに、人類の共存を持続可能とするため、加盟都市と共に、PXビジョンの下で行動計画(2021年ー2025年)に掲げる取組を進め、平和を構築していきます。たゆまず、共に歩を進めて行きましょう。

新ビジョン・行動計画の詳細については、平和首長会議のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/vision/index.html>



=====  
**■平和教育ウェビナー「世界の青少年による平和活動交流会」を開催します！**  
 =====

加盟都市等における青少年が主体となった平和活動の活性化を図るため、平和教育ウェビナー「世界の青少年による平和活動交流会」を開催します。ウェビナーの様子はYouTubeでライブ配信します。現在、視聴申込を受け付けています！



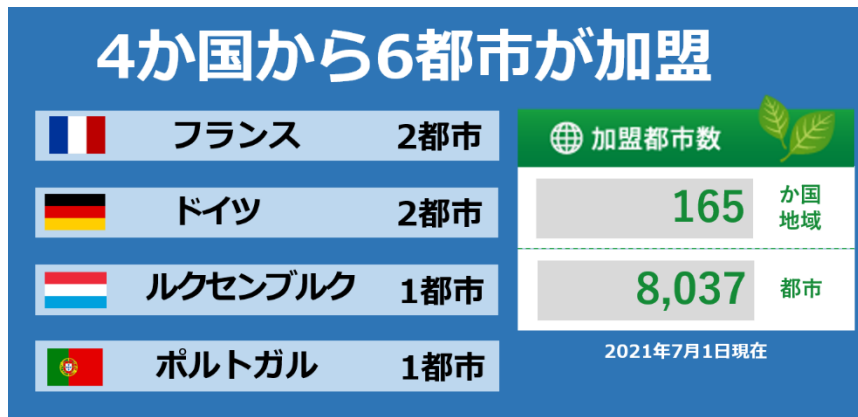
昨年開催したウェビナーの様子▶

- 開催日時: 2021年8月26日(木)19:00~20:30(日本時間)
- 開催方法: Zoom ※YouTubeでライブ配信
- 内容: 次代を担う国内外の青少年が、自身が行っている平和活動について発表するとともに、意見交換を行います。
- ファシリテーター: 中村 桂子氏(長崎大学核兵器廃絶研究センター准教授)
- 発表者(予定):

所属	発表者	居住地
ユースピースボランティア	中村 悠人さん	日本
KNOW NUKES TOKYO	高橋 悠太さん 中村 涼香さん	日本
ナガサキ・ユース代表団	村上 文音さん 鈴木 直緒さん	日本
マラヤ大学	サメイヤ・モー・マズランさん アキダ・リマンさん	マレーシア
ニュージーランド赤十字	サカ・ムナサーさん	ニュージーランド
インフランダースフィールド博物館	アレクサンドロ・ヤラミスさん	ベルギー
PAX	アレハンドラ・ムニョスさん	オランダ
Youth4Disarmament Initiative	マリーケイト・モナハンさん イサ・ベグメンさん	イギリス ドイツ
Nuclear Age Peace Foundation	ジャック・モーゼスさん	アメリカ

- 使用言語  
英語(日本語への通訳はありません。)
- YouTubeライブ配信の視聴申込  
平和首長会議ウェブサイトの特設ページから申し込みます。  
【URL】[http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/news/210721\\_news.html](http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/news/210721_news.html)  
【申込期限】2021年8月22日(日)※日本時間

■平和首長会議加盟自治体数: 165 各国・地域 8,037 自治体



加盟都市数**10,000都市**を目指しています！

7月1日付で、6自治体が加盟し、加盟自治体数は8,037となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。新たに加盟した国・地域と内訳は以下のとおりです。

国名	新規加盟都市名	合計	備考
フランス	シャトー・アルヌー・サン・トールバン、イズール	161	副会長都市及びリーダー都市のマラコフ市の呼び掛けにより加盟。
ドイツ	ルドウィヒスハーフェン・アム・ライン、ロイヤート	716	副会長都市及びリーダー都市のハノーバー市の呼び掛けにより加盟。
ルクセンブルク	ヴァルトブレディムス	62	同国から6か月連続の加盟。
ポルトガル	アルマダ	40	同国のエヴォラ市の呼び掛けにより加盟。

7月1日付新規加盟自治体一覧(PDF)

[http://www.mayorsforpeace.org/data/03\\_newmembers/2021/newmembers2107\\_jp.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/data/03_newmembers/2021/newmembers2107_jp.pdf)

加盟都市数一覧(国・地域別) (PDF)

[http://www.mayorsforpeace.org/data/01\\_monthly\\_updating/07\\_membership\\_by\\_country\\_jp.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/data/01_monthly_updating/07_membership_by_country_jp.pdf)

<<貴自治体の平和活動の情報をお知らせください>>

平和首長会議事務局では、[行動計画](#)に盛り込まれている平和教育や平和文化等に関する行事等の情報を募集しています。平和首長会議ウェブサイトの「加盟都市の活動」コーナーでご紹介します。特に、次代の平和活動を担う青少年の育成に関する事業や「平和文化」の振興に寄与する活動について、ご報告いただけますと幸いです。

来月、広島・長崎は、原爆投下後76回目の8/6・8/9を迎えます。両日中に、事務局より広島・長崎市長による平和宣言をメールでお送りします。各自治体で開催するイベントでの読み上げや、ウェブサイトへの掲載など、市民の皆様への共有をお願いします。

8/6当日、広島市の平和記念式典(原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式)の中継映像をご覧ください。

[式典中継URL・詳細等]

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/atomicbomb-peace/175816.html>

また、原爆犠牲者追悼行事や、平和に関連したイベントを開催された場合は、ぜひ写真とともにご報告をお寄せください。

行事等のタイトル、英語版の有無、リンク先等の詳細を、次のアドレスにご連絡ください。

Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)


=====

### ■平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています

=====

平和首長会議事務局では、自治体、学校、NGO等、様々な実施主体による平和教育の取組事例を「平和首長会議ニュース」やウェブサイトで紹介することにより、そうした活動の広がりを促進していくため、各加盟都市において実施されている平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています。

これまでに寄せいただいた取組事例をウェブサイトに掲載しています。他都市の事例を参考にして、より多くの都市に平和教育の取組を広げていただければ幸いです。

 平和を希求する心を育てる取組の好事例の紹介コーナー(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/vision/initiatives.html#section10>

また、事例募集は引き続き行っておりますので、随時情報提供をお願いいたします。いただいた取組事例は随時ウェブサイトでご紹介する予定です。

▼書類提出・問い合わせ先:

Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

TEL:082-242-7821 FAX:082-242-7452

=====  
**■被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内**  
=====

平和首長会議では、行動計画に沿った取組として、被爆樹木二世の苗木の配付を行っています。小・中学校の平和学習での活用や公共施設の改修にあわせた記念植樹など、平和のシンボルである被爆樹木二世の育成を通じて、市民の平和意識の醸成に取り組んでいただきますよう、ご検討をお願いします。

今年度においても、すでに多くの加盟都市から配付の申請をいただいております。ありがとうございます。引き続き申請を受け付けておりますので、是非ご検討いただければ幸いです。なお、この事業は、通年で行っているため特に申請期限はありません。

また、被爆樹木二世を活用した取組（植樹式や啓発活動を行ったり、平和教育の教材として活用した例など）がありましたら、是非事務局にご報告ください。このメールマガジンや、平和首長会議ウェブサイトの「加盟都市の活動」コーナーでご紹介します。

▼Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

▼TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452



**被爆樹木二世アオギリの生育報告(神奈川県秦野市)**

平和首長会議では、今年度より、被爆樹木二世の苗木を配付した自治体において、樹木がどのように生育しているか、調査を開始しました。2015年に植樹していただいた神奈川県秦野市から、小さな苗木から立派な樹木へと成長を遂げたアオギリの写真が届きましたので、紹介いたします。

このアオギリは、戦後70年となる2015年8月15日に、長崎の被爆クスノキ二世とともにカルチャーパーク内市立図書館横の「平和の森」に植えられて以来、平和のシンボルとして大切に育てられています。今後もこの力強く成長したアオギリが市民に平和の尊さを伝え続けていきます。



2015年8月撮影



2021年6月撮影  
(樹高:7m超)

 被爆樹木二世の苗木の配付申請書、事業紹介パンフレット印刷用データ等のダウンロード：  
<http://www.mayorsforpeace.org/jp/vision/initiatives.html#section04>

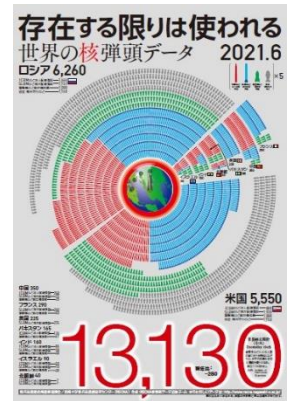
=====

## ■長崎大学核兵器廃絶研究センターから： 2021年版「世界の核弾頭データ」ポスター解説①

=====

前回紹介したように、2021年6月現在、核保有9か国の核弾頭数は13,130発と推定されます。国別では、米国(5,550発)、ロシア(6,260発)、英国(225発)、フランス(290発)、中国(350発)、インド(160発)、パキスタン(165発)、イスラエル(90発)、北朝鮮(40発)となります。

米国、ロシアの保有数が全体の約90%を占めているのがわかります。かつて、あわせて7万近くのにぼった両国の核弾頭は、二国間、あるいは一方的な削減措置によって、冷戦後、その数を大幅に減らしていきました。



しかし、自国の安全保障には核兵器が不可欠と考える米ロ両国の基本姿勢は変わっていません。むしろ二国間、さらには中国を含めた三つ巴の緊張と対立が続く中で、米ロの核軍拡競争が再び激化しています。両国はともに、老朽化が進んだ自国の核兵器システムの性能向上を図ろうと、莫大な予算を投じた「近代化計画」を進めてきました。さらには、最先端技術を使った新型核兵器の開発・配備も加速させています。中距離核戦力(INF)全廃条約の失効(2019年8月)に象徴されるように、二国間・多国間の軍備管理体制にも大きな亀裂が入っています。超大国のこうした姿勢が、世界的な核軍縮の前進を大きく足止めしているのです。(次号に続く)

もっと詳しく知りたい方は [RECNA のホームページ](#)をご覧ください。

=====

## ■ヒロシマ発平和関連ニュース (連載第 81 回)

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

=====

7月7日、国連本部で核兵器禁止条約が採択されてからちょうど4年を迎えました。1945年8月6日に広島、その3日後に長崎が経験したような悲惨を繰り返してはならない、という決意が深く織り込まれた条約です。だからこそ、「被爆者の悲願」とも形容されています。

広島の惨状はどのようなものだったのか。それを伝える資料として、中国新聞写真部員だった故松重美人さんが撮影した5枚の写真があります。8月6日当日の市内の惨状を捉えた写真は、ほかに現存が確認されていません。今年4月に広島市の有形文化財に指定されています。

その写真の中に、負傷した人々の奥で白いシャツを着て立っている男性が見えます。今年6月、被爆直後から現地で救護に当たった医師の故松林保太郎さんである可能性が高いことが分かりました。松林さんが書き残した手紙や証言、生前の姿などから判断して、本人に間違いないと遺族は見ています。

もしかしたら、ヒロシマとナガサキは遠い昔の出来事のように思っている人がいるかもしれませんが。しかし、そうではありません。どこで、どんな人たちが原爆の被害に遭ったのか、現在になって新たに分かることが、まだあるのです。

関連記事は次のアドレスで読めます。

日独平和交流の歩み 冊子に 福山のNPO 独NGO代表を追悼  
<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=105922>

[ヒロシマの空白] 輻重隊の拠点 火の海に 写真・手記に惨状 遺族 発信願う  
サカスタ用地に被爆遺構  
<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=105930>

毒ガス被害者 被爆地訪れ「希望」取り戻す イラン・広島交流 映画に  
<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=106011>

[ヒロシマの空白] 被爆直後 御幸橋で救護 あの日翌日 手紙残した医師・松林保太郎さん  
松重さん写真 家族が姿確認

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=106037>

「ヒロシマの空白」発行 本社 連載・写真を書籍化

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=106084>

=====  
**■広島被爆者7団体が実施する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」  
について**  
=====

核兵器禁止条約は今年1月22日に発効し、現在55か国が批准しています。日本政府の署名・批准は、平和首長会議が目指す「核保有国を始め全ての国がこの条約に参加」するための道づくりとなるものです。

広島被爆者7団体が推進する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」にご協力ください。

🔗 「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」署名用紙

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/news/data/2021/syomei.pdf>

\*\*\*このメールマガジンに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください\*\*\*

**平和首長会議事務局**

〒730-0811 広島市中区中島町 1-5  
(公財)広島平和文化センター 平和首長会議運営課  
TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452  
Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

平和首長会議メールマガジンの最新号やバックナンバーは、次のアドレスからご覧いただけます。

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/statements/newsflash.html>

**【平和首長会議公式SNSアカウント】**

〈ツイッター〉   
<https://twitter.com/Mayors4Peace>



〈フェイスブック〉   
<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>



フォロー、拡散、「いいね」、コメントをお願いします！